

2020年11月26日

レーザー光源を採用した短焦点プロジェクターを新発売

～オフィス・教育現場・リテールなど、さまざまなシーンにおける大画面投影のニーズに対応～

株式会社リコー（社長執行役員：山下良則）は、レーザー光源に対応した中輝度タイプの短焦点プロジェクター「RICOH PJ WXL4760」を12月4日に発売します。

新製品「RICOH PJ WXL4760」は、2016年に発売した「RICOH PJ WXL4540」の後継機種となります。「RICOH PJ WXL4760」は、レーザー光源を採用し、4,000lmの輝度とWXGA(1,280×768ドット)の解像度で80～100型の大画面投影に最適な、明るく鮮明な画質を実現しました。レーザー光源は約20,000時間*交換することなく長期間運用が可能で、突然の光源切れのリスクが非常に低く、安心してご利用いただけます。

また、短焦点レンズを搭載しており、90cmの距離で80型の大画面が投写でき、狭い場所や写距離が確保できない場所でも設置場所に困りません。

さらに、軽量・コンパクトな設計により、据え置き、天吊り設置に加え、付属のキャリーバッグで持ち運ぶことも可能です。従って、食堂など共有空間における仮設ミーティングスペースの構築にも、ご活用いただけます。

加えて、本体の無償保証期間を標準で3年間とし、長期にわたって安心してご利用いただけるサポート体制で提供いたします。

働き方の多様化に伴い効率的なコミュニケーションを求める企業に対して、リコーは新製品の導入を進め、お客様のワークスタイル変革を支援してまいります。

製品名	RICOH PJ WXL4760
光源	レーザー
出力光束(明るさ)	4,000lm
最大解像度	WXGA
質量	約4.3kg
本体無償保証期間	3年
価格	オープン価格



RICOH PJ WXL4760



RICOH PJ WXL4760の利用イメージ

<「RICOH PJ WXL4760」の主な特徴>

1. 大画面をストレスなく快適に、投影するためのパッケージ

■ 長寿命なレーザー光源の採用

- ・ オフィスや教室の環境で、100型ほどの大画面投影に最適な、明るく鮮明な画質を実現しました。
- ・ 起動および電源オフ後のシャットダウンが早く、準備や片付けの時間を短縮します。

・光源は約20,000時間*交換することなく長期間運用が可能です。光源切れのリスクが非常に低く、授業や会議を中断される不安から解放されます。

*出力光束(明るさ)が半減するまでの、使用時間の目安です。

■ 設置場所を選ばない短焦点レンズを採用

・投射距離が短く、比較的狭い場所でも大画面を投影できます。また、天吊り設置の場合は、投写面の前で説明してもまぶしくなく、映り込みも最小限に抑えられます。

■ さまざまな設置スタイルに対応

・さまざまな空間に合わせやすいシンプルなデザインで、常設しても違和感を与えません。

・レーザー光源モデルでありながら軽量(約4.3kg)、コンパクトで、天吊り設置する際の負担を抑えます。

・1人で出し入れでき、運びやすいキャリーバッグが付属します。

2. 便利な機能

■ 電源供給(1.5A)対応のUSB端子

・5V/1.5A出力が可能なUSB-A端子を搭載しているので、USBケーブルによるRICOH Wireless Projection(受信機)や、RICOH Digital Signage STB Type1への給電も可能です。

■ 360° 設置が可能

・さまざまな場所に設置でき、映像による多様な演出をサポートします。

※会社名と商品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2020年3月期リコーグループ連結売上は2兆85億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく“をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>